

# 令和元年度 地域振興推進費事業一覧

令和2年6月15日

北信地域振興局

横断的な課題	施策の柱		地域振興推進費執行額
	取組(事業)	取組内容	
若者定着のための雪に強い故郷(ふるさと)暮らしの推進	<b>1 子育ての支援と子ども・若者の郷土愛の醸成</b>		<b>244,240円</b>
	「信州こどもカフェ」支援の仕組みづくりの検討	○中野モデルの検証及び子どもの居場所づくりの裾野を広げるためのセミナーを中野市社会福祉協議会と共催で開催	
	高校生による地域資源を活用した取組(箸づくり指導による木育、そば打ちによる食文化の発信)	○台風第19号の影響で参加を予定していたイベントが中止になったが、小学校や地域の祭り等でそば打ちを行うなどした。	
	高校生を対象とした「起業塾」の開催(県立大CSI連携事業)	○飯山高校探究科1年生を対象に、①講義・ワークショップ、②フィールドワークを実施	
	<b>2 若者定着のための就労の場の拡大や移住・交流等の推進</b>		<b>916,386円</b>
	一人多役型ライフスタイル移住・就業セミナーの開催	○北信州「一人多役」型ライフスタイル推進実行委員会を組織し、北信州(岳北地域)ならではのライフスタイルや移住・就労情報を発信するセミナーを開催	
	地域おこし協力隊員を対象とした「起業塾」の開催(県立大CSI連携事業)	○県立大CSIとの連携により、地域おこし協力隊員を対象とした起業塾を開催	
	地域おこし協力隊定着支援事業	○行政、地域、協力隊員が連携した定住に向けた環境づくり等の先進事例等を学ぶ研修会の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため年度内開催中止	
	観光産業の人手不足の解消のためのインターンシップの促進	【再掲】	
	<b>3 雪に負けない、雪を楽しむ暮らしづくり</b>		<b>2,166,251円</b>
	モデル住宅を使った雪下ろし講習会の開催など除雪作業の安全対策の普及	○雪害救助員を主対象に命綱固定アンカーモデル設置住宅を使用し、鬼無里 PRIDE PROJECT が取り組む、雪下ろしの安全対策ルールの紹介、意見交換の実施 ○屋根雪下ろし作業の安全対策の普及促進を目的に、屋根雪下ろし安全対策普及促進動画を制作。今後、安全対策の啓発に活用していく。	
	克雪住宅普及のための住宅改修事例集の作成	○克雪住宅普及促進事業を紹介するチラシを全戸配布するなどし制度を周知。 ○克雪住宅の改修の事例集を制作。今後、建設業関係者や市町村と連携し克雪住宅(落雪型、融雪型、雪おろし型)の普及を促進。	
	雪室熟成や雪中貯蔵による加工品や農畜産物等の高付加価値化に向けた研究	○雪室を所有している飯山市、山ノ内町と今後の進め方等について意見交換。 ○市町村雪室利活用連絡会議を開催し、今後の進め方等を意見交換。 ○先進事例の上越市雪だるま財団の視察	
	<b>4 雪国の生活を支える公共交通・医療等の生活基盤の整備</b>		<b>264,066円</b>
	公共交通の利便性向上のための手法や広域調整の仕組み等の検討	○管内市町村による地域公共交通検討会を開催し、地域公共交通網形成計画策定に向けた検討を実施 ○各市町村の地域公共交通会議への参加及び個別打合せ等による課題把握	
	野生鳥獣に負けない集落づくりのための生態を知る勉強会や渋柿の収穫(シブガキ応援隊)の実施	○市町村職員に加え、高校生や地域住民を交えて、野生鳥獣の生態や防除対策の必要性を学ぶ学習会を開催 ○高校生、地域ボランティアの参加によるシブガキ応援隊を組織し、人家周辺に放置されている渋柿を収穫し、干し柿への加工を実施	
北信地域入退院医療・介護連携ルールの運用	○実務者用としてパンフレットを作成し、医師会、病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、市町村等へ配布し、ルールの活用促進を図る。 ・市町村・地域包括支援センター担当者会議の開催 [5/16(木)、11/14(木)] ・北信地域医療・介護連携関係者連絡会の開催 [6/24(月)、12/25(水)]		
「信越自然郷」等通年型の広域観光の推進	<b>1 圏域・県域を越えた稼げる通年型の観光地域づくり</b>		<b>1,265,683円</b>
	北信地域の特産である「アスパラ」「きのこ」を活用した料理提供と消費拡大イベントの開催	○市町村、JA、商工会議所等の協力を得て「アスパラ」「きのこ」を食材とした料理の提供を行うフェアを開催するとともに関連イベントを実施 ○アスパラフェアに関連し、栄村立栄中学校の給食の時間に学習会を開催 ○きのこフェアに関連し、給食施設関係者等を対象にきのこ料理講習会等を開催	
	農業資産カードによる魅力発信(長野局との連携)	○長野地域振興局と連携して農業資産(ため池・棚田・疏水)のカードを作成し、地域農産物等の魅力を発信するとともに、スタンプラリーを開催し、圏域を越えた周遊を促した。	
	「信越自然郷」11酒蔵試飲会(JR飯山駅)	○信越自然郷に存在する11酒蔵のお酒を集めた試飲イベントの開催を企画したが、新型コロナウイルスの影響により中止し、酒蔵紹介のパンフレットのみ作成	
	周遊観光のための情報発信事業	○集客力のある観光地等からの周遊観光を促すためのパンフレット増刷	
	オリジナルノベルティの作成・配布	○「信越自然郷」等をPRする北信地域振興局オリジナルノベルティを作成し、現地機関が関わるイベント、会議、啓発活動等において配布し、圏域内外へ発信した。	
	<b>2 観光振興のための必要な人材の確保と環境整備</b>		<b>2,259,968円</b>
	観光産業の人手不足の解消のためのインターンシップの促進	○大学、短大の学生向けに山ノ内町の旅館等でインターンシップを実施	
	サイクルツーリズムモデルコースの整備	○信越自然郷内のジャパンエコトラック認定22ルートのうち、3ルートに道路案内表示(ピクトグラム)が完了 [菜の花公園ルート、野沢・北竜湖・木島平ルート、なべくら高原ルート] ○過去に設置したピクトグラムの補修を実施	
	志賀高原～秋山郷～カヤの平高原の連携強化を目的とした高原連携道路整備の検討	○5市町村の担当者と高原連携道路会議を開催し、安全、円滑な通行に向けた整備箇所や魅力発信等について検討を実施 ○隠れたビュースポットを紹介するパンフレット作成を計画したが、台風19号災害の影響により作成を見送った。	

横断的な課題	施策の柱		地域振興推進費執行額
	取組(事業)	取組内容	
上記以外の「しあわせ信州創造プラン2.0北信地域計画」に関連する取組			318,005円
	農家の繁忙期の人手不足解消に向けた子育て援農の実施	○りんご農家の繁忙期である「摘果作業(5月)」「葉摘み作業(10月)」「収穫(11月)」の援農ボランティアを募集し、山ノ内町内のりんご農家において作業を実施。【H29政策研究の事業化2年目】	
	きのこ廃培地の資源化技術の普及啓発による再生利用・エネルギー利用の促進	○きのこ廃培地の資源化の技術等を学ぶセミナーを開催。事業者、JA関係者、県外プラントメーカー、市町村職員が参加し、きのこ廃培地の有効利用の方策を学んだ。	
	中高地域安全・安心プロジェクト	○中高防犯協会連合会が地域住民の安全・安心の確保(特殊詐欺被害対策など)や青少年健全育成(こどもカフェ運営支援)のために実施するリサイクル事業を、中野警察署と連携して支援	
	執行額 計		7,434,599円
	活用可能額 8,400千円		執行率 88.5%